

日本マネジメント学会機関誌『経営教育研究』執筆要領

1. 原稿は、必ず投稿規程に則って作成し、章の前後、節の前には必ずそれぞれ1行の空白行を設ける。
2. <注>および<参考文献>は文末とし、9ポイントMS明朝（英数字 century）とする。
3. <注>は、本文末に一括してまとめ、本文中の該当箇所の肩にアラビア数字・括弧の通し番号<(1)(2)(3)……>を付与すること。
4. <注>は、出所を示すためには使用せず、本文の内容を補足・解説する時にのみ使用する。
5. 本文中で参考文献を引用する場合には、括弧内に著者名と年号をアラビア数字で記入する。
例示：山城，1964
6. 著者が2名の場合は連記する。引用外国人名のカタカナ書きはしない。
例示：Dicke, Root & Potter, 2003
7. 頁数表記の場合は次の通りとする。（例示：山城，1964: 30）
8. 翻訳書を使用する場合は次の通りとする。（例示：Garvin, D.A., 1994: 37）
9. コメント、助言、研究資金等への謝辞で後<注>にするには適当でないものは、本文の後、<注>の前に謝辞として、アスタリスク（*）をつけて記述する。
10. 本文の引用・参照箇所を示す場合は、本文の引用・参照箇所の最後に括弧で著者の姓、刊行年（西暦）、該当頁を記入して、出所を示す。
例示A：山城は、「○○○○○○○○○○」と述べている（山城，1964a: 54）。
例示B：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○については既に検証されている（森本，2005: 24）。
11. 本文の引用・参照箇所の出所のみを示す場合は次の通りとする。
例示A：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（森本，2005: 24）。
例示B：○○○○○に関する先行研究には、山城（1964）、森本（2001）などがあげられる。
12. <参考文献>は、同一著者の論文・著書等は刊行年順とし、同一年に同一著者の論文・著作等が刊行されている場合には、「1999a」のように年号の後にアルファベットで順序をつけて区別すること。
13. 文献の表記は、基本的には和図書、和雑誌（論文）、洋図書、洋雑誌（論文）の順序とする。
14. 和図書の表記は次の通りとする。著者（発行年）『タイトル』発行所。
例示A：小椋康宏（1984）『経営財務（増補版）』同友館。

例示 B：小椋康宏編（2002）『経営学原理（第二版）』学文社。

15. 和雑誌（論文）の表記は次の通りとする。著者（発行年）「論文タイトル」『雑誌名』第○巻第○号，発行所，pp.○-○。

例示：小椋康宏（2008）「マネジメント・プロフェッショナルの理念と育成」『経営教育研究』第 11 巻第 1 号，学文社，pp.1-13。

16. 洋図書の表記は次の通りとする。著者（発行年），タイトル，発行所。タイトルはイタリック体で書く。訳書が出ている場合には（ ）内に訳書も書く。

例示：Robbie, K. and M. Wright（1996）Management Buy-ins: Entrepreneurship, Active Investors and Corporate Restructuring, New York: Manchester University Press.

17. 洋雑誌（論文）の表記は次の通りとする。著者（発行年）“論文タイトル，”雑誌名， Vol.○， No.○， pp.○-○。雑誌名はイタリック体で書く。

例示：Wright, M. Thompson, S. Robbie, K, and P. Wong（1995）“Management Buy-outs in the Short and Long Term,” *Journal of Business Finance and Accounting*, Vol.22, No.4, pp.461-482.

付則 本規定は 2009 年 6 月 28 日から施行する。

※【注】【参考文献】→投稿規定の表記に揃えて，<注><参考文献>に訂正（2019 年 10 月 5 日理事会にて指摘を受けた点）。